

身近な危険に気を付けよう！



身に覚え
ありませんか？

事例

自宅1階台所で制汗スプレーを廃棄するため、千枚通しで穴をあけていたところ、噴出した残存ガスに使用中のガスコンロの火が引火し受傷したもの。

☆ エアゾール缶には、LPGなどの可燃性ガスが噴出剤として使われている製品が多いです。廃棄する場合は必ず中身を使い切り、各区市町村が指定するごみの分別を守って捨ててください。

～夏の事故防止について～

夏から秋にかけての行楽期は、海や山でのキャンプやバーベキューの火おこしに着火剤を使用する機会が多くなります。しかし、この着火剤を継ぎ足して使用し、衣服に着火して火傷を負う事故が起きています。

着火剤を使用する時は、説明書をよく読み、一度火を付けたら継ぎ足しは絶対行わないようにしましょう！

また、花火による事故も毎年多く起きています。手持ち花火の火花が子供の衣服に着火し、ケガ人が発生した事例もあります。

- ① **花火で遊ぶ子供には大人が付き添い、事故を起こさないようにしっかりと見てあげましょう！**
- ② **花火を行う前後に十分な散水を行い、消火用の水バケツなどを必ず用意しましょう！**
- ③ **風の強い日には花火を行わないようにしましょう！**

